

香川大学の「防災ボランティア講座」でぼうさい探検隊を実施

～ 率先して防災活動を行うことができる知識と技能を持つ人材を育成 ～

日本損害保険協会四国支部委員会（委員長：本田 陽一郎・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社・理事四国本部長）では、香川大学主催「防災ボランティア講座」において、香川大学の学生達が地域の防災教育の担い手になれるよう当協会が実施している小学生の防災教育プログラム「ぼうさい探検隊」を実施しました。

■日 時：5月11日（土）13:00～17:50

■場 所：香川大学幸町キャンパス研究交流棟1階

■参加者：香川大学長谷川先生、野々村先生、井面先生、高橋先生、香川大学生約35名（6チーム）

■内 容：13:00～14:20 講義「子どもぼうさい探検隊を通じた防災教育活動」、タブレット操作方法の説明
14:30～15:50 まち歩き
16:00～16:45 マップ作り
16:45～17:30 各チームによるまち歩きの気づきについて発表
17:30～17:50 講評・事務連絡

当日の午前中は、香川大学長谷川先生から「防災まち歩きと防災マップの作成」について講義が行われ、午後から当協会事務局による講義、まち歩きに使用するタブレットの説明を行いました。

その後、大学生が6チームに分かれてまち歩きを行い、香川大学の先生からのアドバイスをいただきながら防災上の気づき等をマップにまとめ、発表会を通じてチーム間で防災に係る気づきを共有しました。

今後、本体験を活かして学生達が小学生と一緒に「ぼうさい探検隊」を実施する予定です。

学生達は防災士の資格を取得しているため、防災意識が高く先生方の説明を素早く理解し、危険なポイントや安全なポイントをまとめていました。学生達が社会に出て地域防災の担い手になることを期待しています。

当支部では、引続き大学や行政等と連携し、防災・減災に向けた取組みを推進して参ります。



香川大学長谷川先生によるまち歩きの様子



まち歩きを通じて気づきを発表する香川大学生